

正副議長定例記者会見（令和 7 年 6 月定例会）

日 時：令和 7 年 7 月 2 日（水）13:00～13:15

場 所：観光スポーツ文教警察委員会室

福羅議長



大西副議長



（NHK：幹事社）

定刻になりましたので、正副議長の記者会見を始めさせていただきます。なお、議長は次の公務がありますので、記者会見の時間は 13 時 20 分までといたします。

まず初めに、議長から挨拶をお願いいたします。

（議長）

6 月定例会を閉じましての定例記者会見に、お集まりいただきありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

まず初めに、今年 3 月に、私の地元で発生しました今治市林野火災から 3 ヶ月が経過をいたしました。改めて、被災されました皆様に心からお見舞いを申し上げたいと思います。また、消火活動にご尽力をいただいた自衛隊の方々及び県内外の消防関係者の皆様に、改めて厚く御礼を申し上げます。

今議会は、議長就任後初めての定例会でございましたが、6 月補正予算におきまして、先ほど申し上げました林野火災への対応や大規模災害に備えた防災減災対策等の推進、また地域経済の活性化対策、そして県立今治病院の移転新築をはじめ、医療提供体制の整備や、子どもの学びの機会の確保などを議決したところであります。また、追加提案された重点支援地方公金関係追加予算など、差し迫った課題に適切に対処できたものと認識しております。

さらに、地方創生 2.0 や、産業人材の確保、育成、農林水産業の振興など、種々の課題についても活発な質疑や展開をされ議論が深まったのではないかと評価をしているところでございます。

以上簡単であります、冒頭の挨拶といたします。

（NHK：幹事社）

ありがとうございます。

続いて、副議長から挨拶をお願いいたします。

（副議長）

先ほど議長の挨拶にもございましたが、国の重点支援地方交付金を活用しました取り組みのための追加予算が提案されました。

食材費高騰の影響を著しく受けながらも、サービス維持に向けて、運営を続けている医療・

福祉施設等に対する食材費高騰分に相当する支援や、国の支援対象となっていないLPガスを使用する一般家庭や中小企業、同じく国の支援対象外となっております特別高圧電力を利用する中小企業等への電力使用量に応じた支援金の支給、さらには、特別支援学校の給食費及び、寄宿舎の食費に係る保護者負担の軽減のための食材費の構造部分に係る支援等、本県におきまして早期に対応が必要な物価高騰対策にスピード感を持って取り組むために必要な予算を円滑に議決できまして、私としましても一安心しているところでございます。簡潔に所見を述べさせていただきます。

(NHK：幹事社)

ありがとうございました。

それでは質疑に移らせていただきます。まず代表質問をさせていただきます。

県内では、参院選、県議補欠選挙と立て続けに行われる予定でありますけども、どのような選挙を望まれるかということ。また、特に、低下傾向にある投票率において、こういった対策が必要だとお考えになるかお聞かせください。

(議長)

はい、まずは新居浜市選挙区における県議の補欠選挙でございます。急な選挙になりましたけれども、お聞きしているとありますと、多くの候補者が立候補表明されているということで、政治についての関心が非常に大きくなるのではないかというふうに感じておりまして、その部分では非常に嬉しく感じているところでございます。

選挙戦の中では、真の政策論争が交わされるということを期待するとともに、もちろんでありますけど、クリーンで公正な選挙になることを期待したいと思います。そのうえで、当選された議員とは、互いに切磋琢磨をしながら、より良い愛媛県づくりに邁進していきたい、そんな思いでございます。

それと先ほどおっしゃられたとおり、県議の補欠選挙が13日の投票日、参院選が20日の投票日と、続けて行われるということでございます。どちらの選挙も、県政及び国政に係る大切な選挙だと思いますので、ぜひ、どちらかということではなく、多くの皆さんに両方の選挙に行っていただきたいという思いでございます。

それともう1点、投票率の向上でございますけれども、まず1点は、選挙管理委員会のほうで環境整備に努められていると聞いております。大型店舗等で期日前投票所を開設していただいたり、移動期日前投票所を設置していただく等、そういった環境整備に努めていただくこと、そしてなによりも、県民の皆さま方の投票に対する意識の啓発、これに努めるしかないと考えています。

特に若者をターゲットとしたSNS等を活用した働きかけ、あとは街宣等も行っていると思いますけれども、自分たちの生活にすごく影響する政治という観点を県民のみなさま方に意識いただいて、1人でも多くの方に投票していただきたいという思いです。

(NHK：幹事社)

ありがとうございます。ただいまのお答えにつきまして、質問があれば、お願いします。では、その他質問がありましたら、お願いします。

(愛媛新聞)

愛媛新聞です。

議員定数に関する特別委員会の設置について、設置の狙いと今後のスケジュール感、議長として議論をどう進めていきたいかというところを改めて伺ってもよろしいでしょうか。

(議長)

定数は、各地域によって事情がいろいろ違うと思います。政治課題を多く抱えてる地域もあれば、面積の広い地域もある、そして人口減少の度合いも地域によって違うかと思います。

今回、定数等調査特別委員会を設置し、各会派から代表を出してきていただきまして、その辺りをしっかり議論していただきたいと考えています。各地域でいろんな事情があるなかで、意見を戦わせていただいて、そのうえで、決定をしていただきたいというふうに考えてるところです。議長として、どちらの方向にということは考えてはおらず、委員会の中での決定をもって、それを尊重して進めさせていただければと考えております。

それと5年に1回調査される国勢調査がありますので、この人口の動き、人口動態をしっかりと見据えて、委員会のなかで検討いただきたいと思いますが、前は南予における豪雨災害に係る政治課題が非常に多いこと、人口が減ってるだけで判断してはいけないという意見も多々聞かれました。そういった意見を踏まえ、単純な人口の減少の度合いで判断するのではなく、様々な要因をしっかりと見極めていただいて、委員の皆様には活発な議論をしていただいたうえで出てきた結果・結論を尊重して参りたいと考えてるところでございます。

(愛媛新聞)

ありがとうございます。

(NHK：幹事社)

改めてNHKです。

正副議長にお考えを伺いたいのが、選挙とも関わると思うんですけども、昨今のSNSの偽情報だとか、誤情報への対策について、他県でも県政運営や議会運営、はたまた選挙への影響というのも増してるように感じていますが、そのあたり愛媛県議会としての対策の必要性を含めて考えをお聞かせいただきたい。

(議長)

選挙だと選挙違反等もありますので、誹謗中傷については取り締まられるべきだと思いますけれども、議会としては、偽情報・御情報対策の取りようがなかなかないものの、議員が行ってる情報番組等でしっかりと正しい情報を発信していきたい。

SNSがすべて正しいというふうに、県民の方々も思ってるかというところではないかと思ってるので、議員個々もSNSでしっかりと情報伝達していただくということと、我々がやらしていただいている情報番組のなかで、しっかりと情報を発信していくということがやはり対策のベースではないかなというふうに思います。

あと県民の方々には、そういった情報に惑わされないように気を付けていただくことについても、今後発信していきたいと考えているところでございます。

(NHK：幹事社)

副議長はいかがでしょう。

(副議長)

SNSでの偽情報・御情報対策とあわせて、議員としてSNSの活用方法というのも、これから十分に検討、勉強していかなければいけないと思っております。まさしく明日から参院選が実施されますが、選挙におきましても、先ほど議長も申しましたが、往々にして間違った情報がいかにも正しい情報であるかのように発信されており、こうした誤情報をどうやってさせないかということと、議員としましても、冒頭に申しましたSNSを活用した議員活動、政治活動でしっかりと正しく伝えていきたいと思っております。

議員間でも温度差がございますし、習熟度の差が非常に大きな問題ですので、これから議会としましても、そういったSNSの対策とあわせて利活用ということも勉強、研修していきたいと思っております。

(NHK：幹事社)

以上で、正副議長の記者会見を終わらせていただきます。ありがとうございました。